

一八代市の農業



令和6年12月

八代市農林水産部

目 次

第1 八代中の做況	
1. 立地条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 人口及び世帯数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3. 市民所得···········	2
第2 本市農業の概要	
1. 耕地面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 農家数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3. 農業従事者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4. 作付面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5. 農業生産額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
第3 課題及び対策	
1. 生産対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
2. 担い手対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3. 食の拠点・ブランドづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
4. 国内外の販路・連携体制づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
【資料編】	
1. 令和5年度 事業実績一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 9
2. 八代市単独事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
3. 地区別農家数及び販売規模別農業経営体数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
4. 地区別農業従事者数(男女別、年齢別) ······	28
5. 主要農畜産物生産の推移(品目別)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
6. 農地流動化の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31

第1 八代市の概況

1. 立地条件

八代市は、九州の中央部、熊本市の南約 40 k m に位置し、市域は東西約 50 k m、南北約 30 k m で、約 680 k m の面積を有しています。

東は九州山地の脊梁地帯を形成し宮崎県に境を接し、西は不知火海を隔てて天草諸島を望みます。全面積の約70%が山間地、約30%が平野部からなっており、平野部は日本三急流の一つである球磨川及び氷川などから流下した土砂が堆積してできた扇状地と三角州を基部とした沖積平野と、藩政時代から行われてきた干拓事業により形成されています。

山・川・海そして広大な平野と多様で豊かな自然に恵まれており、特に一級河川の球磨川、氷川のもたらす豊富で良質な水の恩恵を受け、全国有数の農業生産地帯として発展してきました。

2. 人口及び世帯数

八代市は、平成 17 年 8 月、近隣 6 市町村が合併し、人口 136,886 人の県下第二の都市、新「八代市」としてスタートしました。その後、少子高齢化の影響などにより減少傾向が続いており、令和 2 年には 123,067 人となり、10 年間で 9,199 人(\triangle 7.0%)減少しています。

【各年 10 月 1 日現在】								
年 次	世帯数		人口					
	- X E		男	女				
平成 12 年	46,056	140,655	65,917	74,738				
平成 17 年	46,983	136,886	63,823	73,063				
平成 22 年	47,458	132,266	61,446	70,820				
平成 27 年	47,972	127,472	59,221	68,251				
令 和 2 年	49,204	123,067	57,298	65,769				

資料:「国勢調査報告」

総人口及び世帯数の推移 世帯 人 145,000 50,000 140,655 140,000 136.886 49,000 132,266 135,000 48,000 127,472 130,000 47,000 123,067 125,000 46,000 120,000 45,000 115,000 110,000 44,000 平成12年 平成17年 平成22年 平成27年 令和2年 ■■総人口 ●●世帯数(右目盛り)

3. 市民所得

令和 3 年度の市内総生産は約 4,430 億円であり、そのうち農業は 3.0%にあたる約 132 億円となっています。

経済活動別市内総生産

(単位:百万円、%)

		令和2年月	 隻	令和	、]3年度	<u>:日万円、%)</u>
	経済活動の種類	実数	構成比	実数	構成比	対前年度 増加率
1	農業	14,937	3.5	13,163	3.0	△ 11.9
2	林業	855	0.2	1,095	0.2	28.0
3	水産業	215	0.0	356	0.1	66.1
4	鉱工業	110,535	25.6	100,798	22.8	△ 8.8
5	電気・ガス・水道業・廃棄物処理業	11,985	2.8	13,473	3.0	12.4
6	建設業	36,492	8.4	45,428	10.3	24.5
7	卸売・小売業	37,666	8.7	39,571	8.9	5.1
8	運輸•郵便業	25,581	5.9	27,621	6.2	8.0
9	宿泊・飲食サービス業	5,373	1.2	5,094	1.1	△ 5.2
10	情報通信業	1,646	0.4	1,692	0.4	2.8
11	金融•保険業	10,384	2.4	13,175	3.0	26.9
12	不動産業	37,107	8.6	36,675	8.3	△ 1.2
13	専門・科学技術、業務支援サービス業	21,610	5.0	22,920	5.2	6.1
14	公務	21,726	5.0	22,069	5.0	1.6
15	教育	18,208	4.2	18,331	4.1	0.7
16	保健衛生・社会事業	59,898	13.9	60,504	13.7	1.0
17	その他のサービス	15,419	3.6	16,307	3.7	5.8
18	小計(1~17の計)	429,637	99.4	438,273	98.9	2.0
19	輸入品に課税される税・関税	7,638	1.8	9,087	2.1	19.0
20	(控除)総資本形成に係る消費税	4,969	1.1	4,374	1.0	△ 12.0
市	内総生産(18+19-20)	432,306	100.0	442,986	100.0	2.5

資料:令和3年度市町村民経済計算(熊本県)より

※毎年度、遡及改定あり

第2 本市農業の概要

1. 耕地面積

耕地面積は、宅地等への転用や山林化などにより年々減少してきています。令和 2 年の総面積は 7,140ha となっており、平成 2 2 年の 7,612ha と比較し 472ha 減少(\triangle 6.2%)、平成 12 年の 8,117ha と比較し 977ha 減少(\triangle 12.0%)しています。

(単位:ha) 年 次 総面積 田 畑 平成 12 年 8,117 7,091 1,026 平成 17 年 7,740 840 6,900 平成 22 年 7,612 792 6,820 平成 27 年 7,450 6,760 690 令和2年 7,140 6,510 630

資料:「熊本農林水産統計年報」



2. 農家数

総農家数は、令和 2 年が 3,437 戸となっており、平成 22 年の 4,815 戸と比較し 1,378 戸減少 (\triangle 28.6%)、平成 12 年の 5,592 戸と比較し 2,155 戸減少 (\triangle 38.5%) しています。 内訳をみると、販売農家数は 2,657 戸、自給的農家数は 780 戸でいずれも減少傾向です。

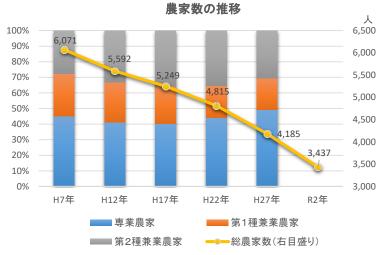
【各年2月1日現在】

						【各年2月	丨日垷仕】
年次	総農家数	自給的	販 売	専 業	兼業		
		農家数	農家数	農家数	農家数	第 1 種	第 2 種
平成 12 年	5,592	1,073	4,519	1,862	2,657	1,158	1,499
平成 17 年	5,249	1,240	4,009	1,615	2,394	963	1,431
平成 22 年	4,815	1,229	3,586	1,586	2,000	726	1,274
平成 27 年	4,185	1,025	3,160	1,556	1,604	637	967
令 和 2 年	3,437	780	2,657				

資料:「農林業センサス」

^{※「}自給的農家」とは、経営耕地面積 30a 未満かつ調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 50 万円 未満の農家

[※]専業・兼業農家数は、2020年農林業センサスより、調査項目から削除



3. 農業従事者数

自営農業従事者のうち農業就業人口は、令和 2 年が 5,810 人となっており、平成 22 年の 8,034 人と比較し 2,224 人減少 (\triangle 27.7%)、平成 12 年の 11,608 人と比較し 5,798 人減少 (\triangle 50.0%) しており、この 20 年間で約半数まで減少しています。

また、令和2年の農業就業人口を年齢別でみると、60歳以上が3,306人と、全体の56.9%を占める状況になっています。

【各年2月1日現在】

	# 114							
年 次 従事	農業	農業就業			基幹的農			
	(上) (任) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日	人口	男	女	業従事者	男	女	
平成 12 年	14,616	11,608	5,667	5,941	9,013	4,728	4,285	
平成 17 年	12,419	9,751	4,909	4,842	7,705	4,156	3,549	
平成 22 年	10,642	8,034	4,159	3,875	6,305	3,534	2,771	
平成 27 年	8,648	6,829	3,601	3,228	6,237	3,452	2,785	
令和2年	7,491	5,810	3,294	2,516	5,765	3,261	2,504	

資料:「農林業センサス」

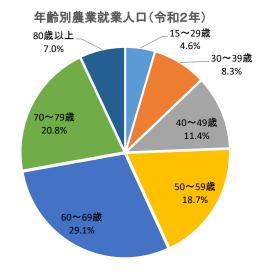
- ・「農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者
- ・「農業就業人口」とは、調査期日前1年間に農業のみに従事した世帯員及び農業と兼業の双方に従事 したが農業の従事日数が多い世帯員
- ・「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

<年齢別の農業就業人口>

【令和2年2月1日現在】

総数	15~	20~	25~	30~	35~	40~	45~
	19 歳	24 歳	29 歳	34 歳	39 歳	44 歳	49 歳
	36	84	147	218	267	318	346
5,810	50~	55~	60~	65~	70~	75 ~	80 歳
	54 歳	59 歳	64 歳	69 歳	74 歳	79 歳	以上

農業就業人口の推移 人 7.000 14,000 11.608 6,000 12,000 9,751 5,000 10,000 8,034 4,000 8,000 6,829 5.810 3,000 6,000 2.000 4,000 1,000 2,000 0 0 H12年 H17年 H22年 H27年 R2年 女 =●━農業就業人口(右目盛り)



4. 作付面積

令和4年の作付面積をみると、最も多いのは米で 3,800ha となっていますが、食生活の変化による米の消費減少や昭和 45 年から始まった生産調整等により作付面積は減少傾向にあります。

野菜類は 2,052ha で、なかでもブロッコリーが最も多く 803ha で、令和元年から 103ha 増加しています。次いで平成 29 年まで最も多かったトマトの 528ha となっています。

工芸作物は 404ha で、い草が最も多く 313ha となっていますが、生活様式の変化に伴う 畳の需要減少に加え、中国産畳表や化学畳表などの増加などにより、作付面積はピーク時 (4,537ha:平成元年)の約 6.9%まで減少しています。その他にもお茶やたばこが栽培されています。果樹は 132ha で、ギネス世界記録(かんきつ類・ザボン区・重量)にも認定された晩白柚(重量 5,528g※)をはじめ、不知火や温州みかんなどのかんきつ類のほか栗などが栽培されています。花きは 35ha で、電照菊・カラー・トルコギキョウ・ユリなどが栽培されています。

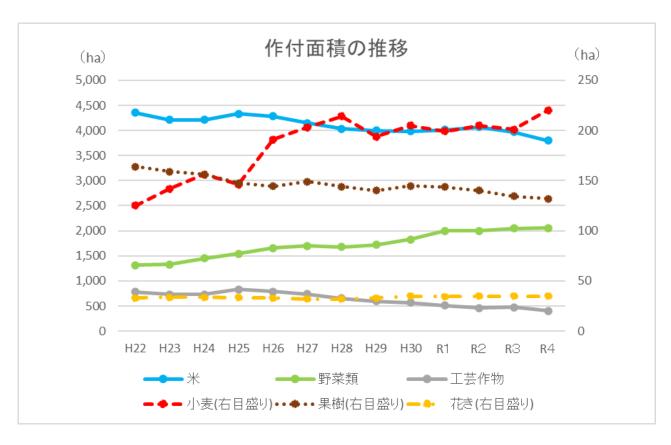
※初回認定(2005.1.28): 4,858 g、更新(2014.12.25): 4,859.7 g、更新(2021.1.20): 5,386g、更新(2023.1.27)5,528 g

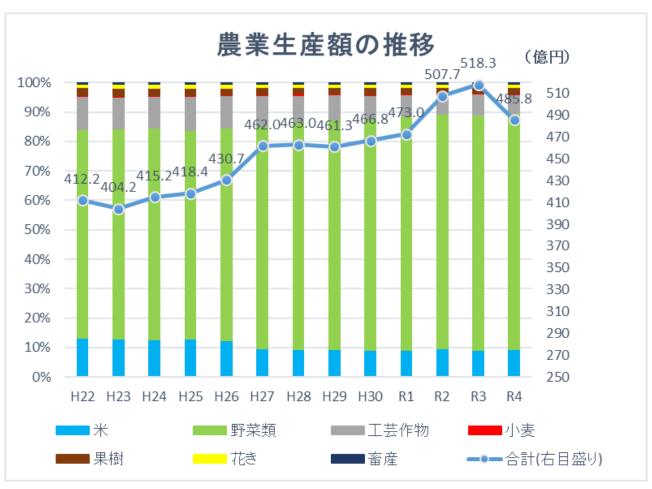
5. 農業生産額

平成 18 年までは農林水産省による市町村別の農業生産額が公表されていましたが、その後は公表されなくなったため、作付面積及び熊本県農業経営指標に基づく標準総収入により八代市において推計を行っています。

令和 4 年の農業生産額は、約 485 億 8 千万円となっています。そのうち野菜類が 390 億 2 千万円 (構成比:80.0%) で主な作物は、トマトが最も多く 310 億円 (同 63.8%)、次いで、ブロッコリー34 億円 (同 7.0%)、いちご 16 億 9 千万円 (同 3.5%)、の順となっています。

い草等の工芸作物が 30 億 6 千万円(同 6.3%)、米が 45 億 2 千万円(同 9.3%)、晩白柚などの果樹が 10 億 1 千万円(同 2.1%)、花きが 5 億 6 千万円(同 1.2%)、 畜産が 2 億 4 千万円(同 0.5%)、小麦等が 1 億 7 千万円(同 0.3%)となっています。





第3 課題及び対策

1. 生産対策

【現状と課題】

- ○本市では、生産量日本一のトマトやい草をはじめ、ブロッコリーやキャベツ等の露地野菜、 晩白柚等の果樹、生姜や茶など海岸部から山間部にかけて様々な農作物が生産されていま す。しかし、農業従事者の減少・高齢化が進行しており、今後も食料供給の一大産地とし て消費者のニーズに応えた農作物を安定的に提供できるよう、生産技術と供給体制の確立 が必要となっています。
- ○近年では、夏季の高温、記録的な集中豪雨や大型台風、冬季の低温など、生産の不安定化 につながっており、気象災害に強い生産基盤の整備が必要となっています。また、燃油や 生産資材の価格高騰に対し、省エネルギー化や生産コストの低減が課題となっています。
- ○販売面においては、本市の農産物は市場において高い評価得ているものの、一般消費者への認知度は高いといえない状況です。近年、情報ツールの発達により消費者は農産物がどこで・誰が・どのようにして作られたのかを容易に知ることができ、より安全・安心で品質の高い農産物の生産とその情報提供が求められています。しかしながら、本市で生産される多くの農産物においては、情報発信が十分とはいえない状況です。

【対策】

- ○ICT技術を活用した高度環境制御技術による栽培システムの普及と気象災害に強い低コスト耐候性ハウスの導入により、高品質で安定した生産・出荷を図ります。また、集出荷 貯蔵施設の再編・整備による安定供給・集荷体制の強化を図ります。
- 〇い草・畳表生産に必要ないぐさ専用機械の導入支援や長寿命化の対策を行い、機械化体系 の維持や生産体制の強化と産地維持に努めます。
- ○農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、安全安心な農産物を生産・供給するために土づくりを基本として、慣行農法に比べて化学合成肥料や農薬を低減する 取組に加えて地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を併せて行う環境保 全型農業を推進します。
- ○農産物の安全性確保や環境保全の改善等に有効なGAPの取得を推進し、国内需要への対応や輸出に必要なグローバルGAPの普及に向けた取組を推進します。
- ○地理的表示(GI)保護制度において、既に登録されている、い草、い草畳表、晩白柚、生姜、塩トマトについては、地域ブランドとして有利販売ができるよう、関係機関と連携した取組を更に推進します。
- ○信頼される農産物の産地として、消費者に生産履歴情報を提供するため、畳表のQRコードなどトレーサビリティにおいてもICTを活用し、八代市産畳表のブランド力を高めるよう情報発信を推進します。
- ○スマート農業技術やデジタル技術の実証実験などにより、農作業の負担軽減や効率化を推進し、担い手の確保や育成、稼げる魅力ある農業の構築へとつなげます。

2. 担い手対策

本市の新規就農者数は、近年 30 名~40 名程度で推移していますが、農業就業人口に占める 60 歳以上の割合は約 57%と高齢化が進行しており、特に、坂本、東陽、泉の中山間地域ではその傾向が顕著になっていることから、新規就農者をはじめ、集落営農組織など多様な担い手の確保・育成が喫緊の課題になっています。

そこで、農地関係の手続き、補助事業等の活用、生産面や経営面など農業全般に関する 相談業務を専門的に行う営農支援員を農林水産政策課内に配置しています。

なかでも、新規就農者対策として、青年等就農計画、新規就農者育成総合対策、農地の確保、制度資金等に関する相談対応のほか、就農後の定期的な巡回、経営計画の指導やフォローアップ等を重点的に取り組んでいます。

3. 食の拠点・ブランドづくり

【現状と課題】

- ○人口減少や少子高齢化など、本市を取り巻く環境が厳しさを増す中、豊富な農林水産物などの地域が有するポテンシャルを最大限に活用した戦略が求められています。
- ○地域内の生産物の価値をさらに高めていく6次産業化・農商工連携を、さらに進めることが求められています。そのため、食に関連する企業・研究機関の集積など、食の拠点づくりにつながる取組が必要です。

対策】

- ○豊かな自然と産業、特産品を活用した6次産業化・農商工連携を進め、高付加価値化を 図ります。
- ○食文化を活かした食育と健康づくりの PR 活動を実施します。
- ○食関連産業の振興とともに、広域交通利便性を活用した産業拠点づくりに取り組みます。

4. 国内外の販路・連携体制づくり

【現状と課題】

- ○人口減少や少子高齢化など、本市を取り巻く環境が厳しさを増す中、豊富な農林水産物など、地域が有するポテンシャルを最大限に活用した戦略が求められています。
- ○本市が持つポテンシャルを最大限に活かすため、生産品の国内外への販路拡大に向けた 取組が求められています。
- ○社会情勢の変化に対応するため、新たな販売方法の確立や販路の開拓が求められていま す
- ○地域の素材や資源を活かした人材育成や関係者の連携の強化につながる取組が求められています。
- ○クルーズ乗船客をはじめ、高まりつつあるインバウンド需要への対応が求められていま す。

【対策】

- ○アジア・都市圏との流通拡大を図ります。
- ○社会情勢の変化に対応できる事業者の育成や新たな販路開拓の支援に取り組みます。
- ○担い手の育成と人材育成強化のための体制づくりに取り組みます。
- ○インバウンド需要に取り組みます。

【資料編】

1. 令和5年度 農業関連対策事業実績一覧

(単位:千円)

事業名	事業内容	事業実施主体等	事業費		負 担	区分	
事 未 右	事 未 73 谷	争未关 爬工体守	尹未其	国費	県費	市費	その他
農地集積対策事業	◆農地集積者支援事業 [内容] 規模拡大を行った者が機械等を導入する場合にそ の導入経費の1/2を助成 (上限 100万円) [実績] 経営体数:14経営体 集積面積:19.3ha	農地集積者 14経営体	12,013			12,013	
機構集積協力金交付事業	[内容] 農地中間管理機構を通じて担い手へ農地を集積した際に地域集積協力金、経営転換協力金を交付 [実績] 経営転換協力金: 0件(0.00ha) 地域集積協力金: 0件(0.00ha)	市内農業者	0	0			
耕作放棄地解消緊急対策事業	[内容] 耕作放棄地の復旧に対する助成 (3万円/10a) 営農定着に向けた取組みに対する助成 (1万円/10a) [実績] 経営体数:1経営体(0.1ha)	市内農業者	38		38		
中山間地域等直接支払交付 金事業	[内容] 農業生産条件の不利な中山間地域等において集 落協定に基づき耕作放棄地の防止など農地の保 全に取り組んだ集落への助成 [実績] 地区数:28地区 (協定面積=184.8ha)	28地区(東陽13、泉2 坂本9、二見4)	26,339	11,589	7,375	7,375	

9

山村活性化支援対策事業	[内容] 農林水産業を核とした地元の所得・雇用の増大に向けた地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上を図る取組を支援	東陽ブランド化推進協議会	9,990	9,990			
	〈補助率:定額〉(上限1,000万円) [実績] 実施団体:1団体 ※市は事業主体に対し、国の交付金が下りるまで のつなぎ資金を支援	計	9,990	9,990			
地域計画策定推進緊急対策 事業補助金	[内容] 地域計画の策定に向け、地域の話合い等をサポートするために必要な経費等に対する支援 [実績] 策定地区:3地区	八代市	1,759		1376	383	
営農支援事業	[内容] 就農希望者、新規就農者、認定農業者等への相 談・支援業務 [実績] 就農相談及び営農支援の件数:1449件	八代市	5,650		1,500	4,150	
担い手育成総合支援事業	[内容] 認定農業者制度の普及・啓蒙のほか、八代農業塾 を実施するため、八代市担い手育成総合支援協議 会に対し活動費を助成 [実績] 認定農業者数:1,276人 担い手のための講座:全10回 八代農業塾:全12講座		3,261		1,211	1,200	850
農業次世代人材投資事業	[内容] 要件を満たした新規就農者に対して、年間150万円 の交付金を交付(最長5年間) [実績] 取組経営体:15経営体(うち夫婦型3経営体)	認定新規就農者	20,486		20,486		
一般農業制度資金利子補給 事業	[内容] 公的融資に対する利子補給事業 [実績] 利子補給者:31経営体	市内農業者	220		110	110	

<u>-</u>

経営継承・発展支援事業	[内容] 地域の中心経営体等の後継者が、経営継承後の経営発展に関する計画に基づく取組を行う場合に必要となる経費を支援する。 〈補助率:国、市町村がそれぞれ1/2以内〉 ※100万円上限 [実績] 取組経営体:3経営体	市内農業者	4,373		1,500	2,873
収入保険加入緊急支援事業	[内容] 農業経営収入保険の保険料負担軽減策として、 熊本県農業共済組合が実施する農業経営収入保 険の加入者に対する補助 〈補助率:令和5年度の加入者負担保険料の1/2以 内〉 [実績] 加入者:374件	熊本県農業共済組合	65,036	32,556		32,480
土壌分析診断事業	[内容] 土壌の化学分析を実施し、適切な土壌管理による 作物の安定生産への支援(分析料:2,030円 市内 農業者は3検体まで減免) [実績] 土壌分析:402件(うち無料:319件 有料:83件)	八代市	1,057		1,057	
農事研修センター自主事業	[内容] 農業後継者、女性農業者等の育成及び農業経営 に必要な技術・知識の習得に対する助成 [実績] 農業技術者養成講座:4回開催 生活研究グループ自主活動取組団体:1団体 八代地域農業後継者育成事業推進協議会活動補 助	八代地域農業後継者育成 事業推進協議会、生活研究 グループほか	521		521	
い業機械再生支援事業	[内容] い草専用機械の修繕又は整備に係る費用の半額 を助成(上限額 10万円) [実績] 161台に対して補助金を交付	い草生産農家 161名	41,965		15,678	26,287
畳表張り替え促進事業	「内容」 市内に所在する住宅において畳表の張替えを施工 する者に対して張替えに係る費用の一部を助成 助成額 1千円/畳 上限16千円 [実績] 3,762畳に対して補助金を交付。	346世帯	3,762		3,762	

いぐさ畳表生産体制強化支援対策事業	[内容] 作業や機械・施設の共同・組織化の推進及びそれ に当たって必要な共同利用機械の整備に係る経 費を助成。補助率:1/2以内 [実績] 畳表織機(中村式織機)の機能強化1台 ・オーバーホール ・QRコード紙用停止装置導入	宝出織機利用組合	1,213		551		662
八代市工芸作物燃油価格高 騰対策支援事業	[内容] いぐさ・葉たばこ、茶の乾燥等に使用するために購 入したA重油等に対して上昇分の一部を補助。 [実績] 1,663,407似に対して補助金を交付	農業者(244件)	21,774	21,774			
八代市畳表経糸価格高騰対 策支援事業	[内容] いぐさ畳表の製織に使用した経糸の価格上昇分の 一部を補助。 [実績] いぐさ畳表生産者287名に補助金を交付	農業者等(287件)	29,122	29,122			
八代市肥料価格高騰対策事業	[内容] 肥料購入費の上昇分の15%を補助。 対象期間:R4.6月~R5.5月 [実績] 75事業実施者に対して補助金を交付	75事業実施者(対象農家 数:4,505戸)	61,569	61,569			
強い農業づくり支援事業	[内容] 農畜産物の高品質・高付加価値化、低コスト化に 資する取組を支援 [実績] ◆低コスト耐候性ハウス(3棟)の整備	R5屋根型ハウス生産管理 組合	219,854	99,933			119,921
環境保全型農業直接支払交 付金事業	[内容] 環境保全に係る営農活動を支援 [実績] ◆堆肥の施用(171a)、有機農業(3,125a)、冬期湛 水(570a)の実施	環境保全型農業技術研究 会八代支部 他2事業主体	4,637	2,319	1,159	1,159	
八代市施設園芸燃油価格高 騰対策支援事業	[内容] 施設園芸の加温用に購入したA重油に対して5円/ 収を補助 [実績] ◆24,047,036似に対して補助金を交付	農業者(562人)	120,235	120,235			
八代市配合飼料価格高騰対 策支援事業	[内容] 配合飼料の購入に対して5,000円/tを補助 [実績] ◆7,026tに対して補助金を交付	畜産農家(12人)	35,130	35,130			
鳥獣被害防止総合支援対策 事業	[内容] 総合的な鳥獣被害対策の取組を支援 [実績] ◆電気柵(5,949m)、ワイヤーメッシュ柵(1,920m) の導入	八代市有害鳥獸被害対策 協議会	7,259	7,259			

							(4-12·111)
攻めの園芸緊急生産対策事 業	[内容] 農産物販売価格の向上、生産量増大、生産経費 削減に資する取組を支援 [実績] ◆谷自動換気施設(217台)の導入 ◆自動内張開閉装置(76台)の導入 ◆炭酸ガス発生装置(6台)の導入 ◆高設育苗ベンチ(3式)の導入	八代地域農業協同組合園 芸部 他1事業主体	37,574		11,384		26,190
八代市トマト黄化葉巻病地域対策事業	[内容] トマト黄化葉巻病対策として実施する地区の除草 等に要する経費を補助 [実績] ◆除草剤、草刈り刃等の購入経費支援	地区作業部会 (77地区)	2,082			2,082	
八代市晚白柚生産支援事業	[内容] 晩白柚生産の維持・拡大、品質向上に資する取組 を支援 [実績] ◆タイベック(36本)の導入	農業者(15人)	302			136	166
八代市農作物有害鳥獣防護 柵設置事業	[内容]鳥獣被害対策に係る取組を支援[実績]◆電気柵、ネット柵等の導入導入箇所数:20箇所	農業者(15人)	1,001			335	666
収穫体験事業	[内容] 農林水産物を活用した体験型の旅行商品造成に 取り組み農林水産事業者等を支援。	株式会社 グローカルプロジェクト	1,892			1,892	
くまもと県南フードバレー推進 協議会負担金	[内容] 〈まもと県南フードバレー推進協議会負担金	くまもと県南フードバレー推 進協議会(熊本県、県南15 市町村)	4,341			4,341	
くまもとうまかもん輸出支援協 議会負担金	[内容] 展示会・商談会・フェア等の情報提供及び出展支援、セミナー開催等による人材育成支援	くまもとうまかもん輸出支援 協議会	412			412	
サンプル発送業務委託	[内容] 提案サンプルの手配、発送手数料	株式会社肥後畳表中央市 場	600			600	
トマトフェスタ開催補助金	[内容] トマトフェスタ開催補助金	トマトフェスタ実行委員会	500			500	
国内マーケティングアドバイ ザー委託	[内容] 中食・外食産業等及び域内事業者等への事業者 訪問、本市農林水産物等の提案	1名	2,200	1,100		1,100	
海外マーケティングアドバイ ザー委託	[内容] 域内事業者等への事業者訪問、輸出等に向けた 助言。	1名	1,599	799		800	
商品開発アドバイザー委託	[内容] 域内事業者等への事業者訪問、新商品開発・経営 戦略への助言	1名	1,656	828		828	
商流構築サポート業務委託	[内容] 八代市の商流拠点の構築サポート、市内事業者 の販路開拓支援	株式会社 東陽地区ふるさと公社	2,000	1,000		1,000	

(単位:千円)

八代市農林水産物等販路拡 大事業補助金	[内容] 八代市産農産物等の販路拡大等を目的とした出 展等に対する補助金	5事業者	942	471	471	
海外販路拡大業務委託	女沙でのハベフェマ四体 谷り日太玉田乗にかか	(株)マインド (株)グローバルトレーディング	6,607	3,304	3,303	
海外マーケティング業務委託	[内容] セミナー開催、バイヤー招聘、見本市出展等による販路開拓支援	一般社団法人熊本県貿易 協会	1,000	500	500	
農林水産物輸出リーファーコン テナ利用補助金	[内容] リーファーコンテナを利用し、八代港から農林水産 物等を輸出する際の補助	1団体	100	50	50	
熊本県やつしろ晩白柚ブランド 推進協議会負担金	[内容] 香港小売店舗での晩白柚プロモーションの実施	熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会	1,232	616	616	
八代畳表認知向上·需要拡大 事業負担金	[内容] 八代産畳表の認知向上・需要拡大のためのPR事 業の実施	八代産畳表認知向上·需要 拡大推進協議会	13,845		3,615	10,230
新商品開発・販路拡大に係る マッチング業務委託	[内容] セミナー開催、バイヤーを交えた交流会を実施	株式会社 Grande	500		500	

2. 八代市単独事業実績

八 代 市 農 地 集 積 対 策 事 業 (農地集積者支援事業)

1. 事業の目的

い草の栽培面積の減少により冬場に利用されていない農地や今後遊休化が懸念される高齢農家や兼業農家が所有する農地について、担い手農家への集積を促進し、露地野菜等の土地利用型農業の推進を図ります。

2. 事業概要

初めて申請する人は、5年以上の新規の賃借権設定に対して、申請年度の3年度前の年度の末日と比べて1ha(中山間地域は0.5ha)以上、又は0.5ha以上の規模拡大を行った人が機械等を導入する場合にその導入経費の1/2以内(上限:100万円又は50万円)を助成。 過去に本事業の補助を受けた人(2回目)は、1回目に導入した機械等の耐用年数が経過し、1年以内に担い手以外が耕作していた農地を1ha以上集積、拡大後の経営面積が4ha以上の規模拡大を行った場合その導入経費の1/2以内(上限:100万円)を助成。

3. 事業実績

令和5年度は、事業の活用により19.3haの農地集積が図られました。

事業名	件数	集積面積(ha)	補助金額(円)
農地集積者支援事業	14	19. 3	12, 013, 000



1. 事業の目的

農業従事者の高齢化が急速に進んでいるなか、就農前の相談から就農後の生産面・経営面などを総合的にサポートするワンストップ窓口と しての営農支援室を設置し、将来の本市農業を担う農家の育成・確保に早急に取り組みます。

2. 事業概要

営農支援員2名を配置し、就農希望者、新規就農者、認定農業者、希望する農家等の相談業務・支援業務を行います。

- ①就農希望者の相談業務 就農認定、新規就農者育成総合対策事業、農地、資金の確保などの相談のほか就農後の定期的な巡回指導等
- ②農業全般の相談業務 生産・経営・6次産業化などに関する相談対応
- ③担い手育成関連業務
 - 人・農地プランの見直し及び作成時のアドバイス、農家の意向調査等

3. 事業実績(事業費:5,651千円)

就農相談件数	66 件
新規就農者数	16 人
営農支援(フォローアップ)件数	1,383件
認定農業者数	1,276 人



土壤分析診断事業

1. 事業の目的

市内に居住する農業者等の土壌状態を定期的に化学分析することで適切な土壌管理につなげ、土の酷使からくる土壌の劣悪化を回避し、安定した生産性の高い農業の実現を目指します。また、化学分析結果をもとにした適切な施肥管理を行うことで過剰施肥を防ぎ、生産コスト低減による経営の安定化を図ります。

2. 事業概要

土壌・作物体総合分析装置により 10 項目(pH・EC・腐植・アンモニア態窒素・硝酸性窒素・置換性石灰・苦土・加里・有効態燐酸・CEC)の 化学分析を行います。分析結果は、項目ごとに過不足等のコメント及び土壌改良に必要な資材の施用量を記載した土壌分析診断書を発行しています。令和 5 年度は「土壌分析診断支援事業」として市内農業者の分析手数料を 3 検体まで無料としています。



土壌持込 ⇒ 受付 ⇒ 乾燥・砕土 ⇒ 化学分析 ⇒ コンピューター処理 → 個別指導

(農協・県農業普及振興課)

土壤分析診断書発行

3. 事業実績(事業費:1,057千円)

令和5年度分析件数:402件(うち無料:319件、有料:83件)



<u>農事研修センター自主事業</u>

1. 事業の目的

農業担い手の減少や農業者の高齢化が進んでいる現状の中、農家の持続的発展と効率的かつ安定的な農業経営を目指す人材の育成と確保を 図る。

2. 事業概要

農業の維持・活性化に大きく貢献している女性や高齢者の自立的活動を支援するとともに、新規就農者の確保と育成を推進する。また、総合的な農業後継者育成事業としての「八代地域農業後継者育成事業推進協議会」の運営に参画している。

3. 事業実績(事業費:521千円)

○生活研究グループ自主活動補助 :45 千円×1 団体

○担い手のための講座
:11月、12月、2月(4講座) 講師謝礼等 27千円

○八代地域農業後継者育成事業推進協議会事業補助:449 千円

八 代 市 い 業 機 械 再 生 支 援 事 業

1. 事業の目的

い草の専用機械の老朽化、機械メーカーの撤退等のい草生産者を取り巻く危機的状況を打破し、い草産地として元気と活力の回復を図ります。

2. 事業概要

い草の専用機械再生(修理・オーバーホールなど)に要する費用に対し助成を行います。

<交付対象者>

本市に住所を有するい草生産者及び加工業者

<補助金額>

補助対象事業に要する費用の額(消費税及び地方消費税額を除く。)に2分の1を乗じて得た額(上限:10万円)

<対象機械>

ハーベスタ、織機、乾燥機、選別機、移植機、苗掘取機 等

³ 3. 事業実績(事業費:41,965 千円)

対象機械	事業費	補助金	取組件数
ハーベスタ	29,887 千円	11,071 千円	113 件
織機	2,793 千円	1,000 千円	10 件
苗掘取機	4,066 千円	1,480 千円	16 件
その他	5,219 千円	2,127 千円	22 件
合計	41,965 千円	15,678 千円	161 件



7

八代市畳表張替助成事業

1. 事業の目的

八代市民が行うQRコードタグを挿入した八代市産畳表による畳張替えに対しその費用を一部助成することにより、主要産地である八代市における国産量のシェア拡大とQRコードタグの普及を図ります。

2. 事業概要

市内に所在する住宅の畳表の張替えを施工する者に対して張替えに係る費用の一部を助成します。

<助成対象者>

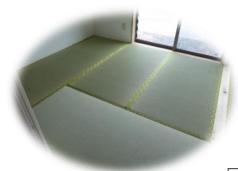
- (1) 八代市小規模工事等契約希望者登録制度による登録をしている畳店で畳表の張替えを施工すること。
- (2) 次に掲げる住宅において施工するものであること。 畳表の張替えを施工しようとする者(市内に住所を有する者に限る。) が居住する住宅(住所地に所在するものに限る。)
- (3) 畳表の張替えにおいて使用する畳表は次に掲げるものであること。
 - ア. 本市産のQRコード付きタグが挿入された畳表であること。
 - イ. 畳店を流通した畳表であること。
- (4) 令和6年3月31日までに施工し、畳表の張替えを発注した者に引き渡すものであること。

<補助金額>

1,000円/1畳(上限16千円)

3. 事業実績(事業費:3,762千円)

- ○割引券発行枚数 3,762 枚
- ○割引券発行者数 346 名
- ○事業実施主体 八代市小規模工事等契約希望者登録畳店 31 店





1. 事業の目的

イノシシ、シカなどの獣類及びカモ・スズメ・ハト類・カラス類・ヒヨドリなどの鳥類による農作物の被害を防止する。

2. 事業概要

農業所得の申告を行っている者又は3アール以上の農地を耕作している者を対象として、農地1箇所当たり補助対象経費の1/2 (上限2万円)を限度とし、有害鳥獣侵入防止のために設置する防護柵、防鳥ネット等の購入に係る費用の一部を助成する。 (※ただし、補助対象となる設置箇所数は1人2箇所まで4万円を限度とする。)

3. 事業実績(事業費:1,000千円)

- ○設置箇所数 20 箇所、農業者 15 人実施
- ○設置面積 308.5a
- ○事業費内訳

括 叛	箇所数	設置面積	事業費	市補助金
種類	(箇所)	(m^2)	(円)	(円)
電気柵	14	15, 979	836, 059	260,000
ワイヤーメッシュ柵	1	482	20, 110	9, 100
金網柵	1	401	44, 274	20,000
ネット柵	2	6, 703	55, 800	25, 300
防鳥糸	2	7, 285	44, 222	20, 100
合 計	20	30, 850	1, 000, 465	334, 500



八 代 市 晚 白 柚 生 産 支 援 事 業

1. 事業の目的

晩白柚の新植・改植・補植及びタイベックの導入を支援することで、晩白柚の生産の維持及び拡大並びに品質向上を図る。

2. 事業概要

農業所得の申告を行っている者又は晩白柚の販売が証明できる者で、事業の完了後5年以上晩白柚の栽培による営農の見込みがある者に対して、補助対象経費の1/2を限度とし、苗木、タイベックの購入に係る経費の一部を助成する。

3. 事業実績(事業費:302 千円)

総 事 業 費:301,204円 市 補 助 金:135,500円

事 業 主 体:農業者15人(タイベック15人) 実 施 面 積:150a (タイベック150a)

実 施 内 容:タイベック 36 本



__/、代 市 ト マ ト 黄 化 葉 巻 病 地 域 対 策 事 業

1. 事業の目的

ハウス周辺の除草作業等を徹底することで、トマト黄化葉巻病のまん延防止を図る。

2. 事業概要

地区で実施する除草作業等に要する経費(消耗品費、借用料、燃料費等)を助成する。(定額(上限額:30,000円/地区))

3. 事業実績(事業費:2,083 千円)

総 事 業 費:2,082,894円 市 補 助 金:2,082,894円

事 業 主 体:各地区作業部会 (77 地区) 実 施 内 容:地区内の草刈・農薬防除等



八 代 市 農 林 水 産 物 等 販 路 拡 大 事 業 補 助 金

1. 事業の目的

八代市の農林水産物等の販路拡大・販路開拓のため、国内外の商談会、展示会等への出展を通じて関連産業の活性化の取組を行う生産者団体、 出荷者組織、事業者等に対し補助を行うもの。

2. 事業概要

【対 象 者】 八代市内に主たる事業所などを有する生産者団体、出荷者団体、事業者等

【対象事業】 商談会、展示会、その他イベントの開催、出展など

【対象経費】 旅費(宿泊費、交通費)、広告物製作費、会場使用料、出展料、展示装飾費、輸送費、通訳費、委託料など

【補助金額】 補助対象経費の額に2分の1を乗じて得た額以内 補助上限額は合計20万円

3. 事業実績(事業費:942千円)

【交付対象事業者数】

5事業者

農林水産物輸出リーファーコンテナ利用補助金

1. 事業の目的

八代港の国際コンテナ定期航路及び国内コンテナ定期航路を利用した農林水産物(加工品を含む)の輸出促進を目的として、リーファーコンテナで輸出する荷主に対し補助金を交付します。

2. 事業概要

【対象者】

補助金の交付を受けようとする年度に八代港の国際コンテナ定期航路又は国内コンテナ定期航路を利用する企業(個人経営の企業を含む)であって、次のいずれかの要件を満たすものとします。

- (1) リーファーコンテナで農林水産物を輸出する八代市内の荷主であること。
- (2) リーファーコンテナで八代地域の農林水産物を輸出する荷主であること。

【対象経費】

海上運賃、ターミナル取扱費用、書類作成費用、コンテナ封印費用、燃油割増料、通貨調整料、通関手数料、貨物取扱手数料、貨物のコンテナ搬入に係る費用、港湾内のコンテナ輸送費、貨物のラベル貼付に係る費用 など

【補助金額】

補助対象経費の額に2分の1を乗じた額(1, 000円未満の端数は切り捨て)とし、20フィート又は40フィートのコンテナ1個あたりの上限額は10万円とします。

3. 事業実績(事業費:100千円)

【交付対象事業者数】

1事業者





- 27 -

3. 地区別農家数及び販売規模別農業経営体数

【令和2年2月1日現在】

				[農業経	営体 数(農産物販	売 金 額 規	模別)		
地	1 ≥	Σ 4		総農家数	自給的 農家数	販売 農家数	50 万円 未満	50 ~ 100	100 ~ 300	300 ~ 500	500 ~ 1000	1000 ~ 3000	3000 ~ 5000	5000 ~ 1億	1億 円以上
市	全	È	体	3,437	780	2,657	423	283	411	212	359	622	173	144	32
太	B	8	郷	133	38	95	28	18	16	6	14	11	1	-	-
松			高	114	21	93	17	12	11	6	5	32	5	4	3
代	陽 •	八	代	12	6	6	1	_	1	1	_	1	1	-	_
植			柳	86	29	57	9	11	8	7	3	11	3	2	3
郡			築	337	29	308	28	22	34	17	24	72	50	63	8
龍			峯	122	14	108	18	11	28	10	21	20	1	1	1
金			剛	397	34	363	43	30	61	20	56	113	28	14	_
高			田	119	31	88	12	12	11	6	19	14	1	1	_
宮			地	36	20	16	5	2	3	2	_	_	-	_	_
八	Ŧ	f	把	125	26	99	26	16	18	3	9	15	4	8	2
昭			和	130	9	121	5	4	5	5	11	41	24	24	5
日	孨	Ę	久	118	22	96	11	18	32	8	12	5	2	_	-
=			見	171	75	96	31	9	12	8	7	2	_	_	_
千			丁	306	40	266	34	26	37	30	36	80	14	3	1
	鉧	竟		614	72	542	54	38	61	38	100	173	37	24	9
坂			本	215	115	100	50	15	11	1	1	-	-	-	_
東			陽	278	113	165	13	18	37	27	28	21	_	_	_
	身	₹		124	86	38	6	4	7	10	_	ı	2	-	-

資料:「2020 年農林業センサス」

^{※「}自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

[「]販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

4. 地区別農業従事者数(男女別、年齢別)

【令和2年2月1日現在】

	【节相之中之月十百场往】														
			<u>-</u>							年	齢別の	農業	従 事 者	数	
地	区	名	農業 従事者数	男	女	基幹的農 業従事者	男	女	15 歳 ~24 歳	25 歳 ~34 歳	35 歳 ~44 歳	45 歳 ~54 歳	55 歳 ~64 歳	65 歳 ~74 歳	75 歳 以上
市	全	体	7,113	3,867	3,246	5,162	2,926	2,236	207	452	702	972	1,666	1,870	1,244
太	田	郷	253	144	109	158	95	63	9	16	25	23	59	79	42
松		高	279	148	131	206	117	89	8	28	21	45	55	64	58
代系	易•,	八代	15	10	5	7	4	3	1	3	3	2	2	4	ı
植		柳	163	91	72	118	65	53	4	14	17	17	35	40	36
郡		築	937	509	428	733	411	322	35	105	128	138	196	196	139
龍		峯	245	138	107	187	108	79	1	8	15	29	67	90	35
金		剛	1005	546	459	748	418	330	35	65	92	166	254	262	131
高		田	206	113	93	157	90	67	10	9	18	31	42	50	46
宮		地	24	15	9	17	10	7	-	1	2	2	4	7	8
八	千	把	262	136	126	154	92	62	13	15	36	33	51	69	45
昭		和	370	194	176	323	177	146	10	24	50	66	88	75	57
日	奈		229	122	107	131	79	52	13	8	18	28	35	80	47
=		見	191	104	87	116	67	49	1	5	11	15	49	66	44
千		丁	656	356	300	480	271	209	9	21	60	92	181	187	106
	鏡		1407	756	651	1082	606	476	45	94	156	204	339	344	225
坂		本	198	115	83	86	53	33	4	5	9	22	38	58	62
東		陽	358	196	162	251	142	109	8	12	18	27	101	101	91
	泉		70	38	32	48	30	18	_	5	4	6	15	25	15

資料:「2020 年農林業センサス」

※「農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。

「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

5. 主要農畜産物生産の推移(品目別)

(単位: ha、トン、千万円)

年 次	*			小 麦			トマト			メロン			いちご		
•	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額
平成25年	4,330	21,900	545	146	405	10	449	54,400	2,226	100	3,500	111	35	1,320	154
平成26年	4,280	21,800	538	191	598	13	470	56,720	2,359	90	3,150	100	35	1,242	154
平成27年	4,150	20,500	444	203	443	14	496	58,210	2,661	85	2,975	120	20	792	117
平成28年	4,030	21,300	431	214	379	15	494	61,060	2,652	80	2,800	113	35	1,242	204
平成29年	4,000	21,400	428	194	438	13	500	58,890	2,693	71	2,324	100	35	1,148	204
平成30年	3,980	21,400	426	205	473	14	506	67,750	2,727	71	2,640	100	35	1,289	204
令和元年	4,010	20,200	429	199	631	14	522	68,100	2,779	71	2,300	100	33	1,200	192
令和2年	4,070	20,400	484	205	677	15	532	70,120	3,075	52	2,112	77	26	1,200	146
令和3年	3,970	20,300	472	201	728	15	531	68,180	3,120	65	2,585	97	28	1,207	157
令和4年	3,800	18,500	452	220	733	17	528	66,000	3,101	60	2,228	89	30	1,387	169

年 次	キャベツ			レタス(冬レタス)			-	ブロッコリー	-		しょうが		馬鈴薯(春植え)		
	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額
平成25年	283	10,830	98	154	5,280	70	240	2,040	71	72	4,200	155	140	3,630	50
平成26年	291	10,930	101	153	5,430	69	340	3,060	100	72	3,312	155	139	3,880	50
平成27年	296	10,710	116	159	4,710	106	380	3,610	143	72	3,528	155	129	3,750	47
平成28年	274	9,158	107	146	5,410	97	374	3,366	141	70	3,320	151	126	3,350	46
平成29年	268	8,252	105	163	5,300	109	408	3,869	153	68	3,255	147	139	3,760	51
平成30年	259	9,500	101	173	6,160	116	530	4,770	199	65	2,990	140	125	3,340	46
令和元年	260	10,360	102	177	6,920	118	700	6,300	263	65	2,925	140	110	2,820	40
令和2年	235	7,580	88	188	6,260	118	740	8,133	314	50	1,200	147	104	2,320	38
令和3年	219	6,826	82	176	6,280	110	803	7,569	340	47	1,632	138	103	2,830	38
令和4年	224	7,172	84	180	6,520	113	803	7,569	340	38	1,672	111	102	2,820	37

資料:農林水産省「作物統計調査」、熊本県「主要野菜生産状況調査」「果樹振興実績調査」「花き産地生産出荷事情調査」「畜産統計」「農業経営指標」、八代市調べ

•
C
č

年 次	い草			たばこ			晚白柚			温州みかん			不知火		
	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額
平成25年	661	9,518	408	35	89	19	49	680	56	37	406	28	8	145	16
平成26年	601	8,233	371	35	99	20	49	690	56	37	409	28	8	150	16
平成27年	567	6,294	408	33	74	15	51	500	63	37	377	27	8	160	16
平成28年	517	6,721	372	33	68	15	51	530	63	36	369	27	8	150	16
平成29年	470	6,956	338	32	73	15	51	620	63	36	364	27	8	180	16
平成30年	443	6,156	319	31	75	15	51	650	63	36	405	27	8	190	16
令和元年	389	5,841	280	30	77	15	51	645	63	36	323	27	8	220	16
令和2年	346	5,149	291	29	65	15	51	590	58	36	284	29	8	190	17
令和3年	369	5,235	310	27	78	14	50	620	57	34	258	27	8	225	17
令和4年	313	4,781	263	11	28	6	48	580	55	32	172	25	8	207	16

(単位:戸、頭、箱)

年次	乳月	月牛	肉月	月牛	養	豚	養蜂		
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	箱数	
平成25年	3	160	7	54	4	118	7	1,735	
平成26年	3	166	5	57	4	86	10	1,739	
平成27年	3	165	3	17	2	67	10	1,955	
平成28年	3	156	4	24	2	34	10	2,262	
平成29年	3	129	4	25	1	13	10	2,229	
平成30年	3	130	4	27	0	0	15	2,313	
令和元年	3	130	2	18	0	0	19	2,484	
令和2年	3	130	3	25	0	0	21	2,569	
令和3年	3	132	2	44	0	0	21	2,690	
令和4年	3	169	2	29	0	0	21	2,654	

- 資料:農林水産省「作物統計調査」、熊本県「主要野菜生産状況調査」「果樹振興実績調査」「花き産地生産出荷事情調査」「畜産統計」「農業経営指標」、八代市調べ (注)生産額は八代市推計値、養蜂の箱数は八代市内に設置された箱数

<u>ယ်</u> -

6. 農地流動化の状況

(単位: m³)

		令和	13年度	令	和4年度	令	和5年度		合 計
		件数	面 積	件数	面 積	件数	面 積	件数	面 積
	所有権移転	55	267,204	56	176,305	52	129,555	163	573,064
	使用貸借	-	-	-	-	1	36,021	1	36,021
3 条	賃 借 権	-	-	-	1	-	-	0	0
	その他	3	15,046	4	16,547	1	2,798	8	34,391
	計	58	282,250	60	192,852	54	168,374	172	643,476
4	許可	28	12,595	36	20,180	26	9,486	90	42,261
条	計	28	12,595	36	20,180	26	9,486	90	42,261
	所有権	160	160,692	130	138,940	111	94,532	401	394,164
5	賃 借 権	10	15,103	4	4,607	14	6,178	28	25,888
5 条	使用貸借	20	6,992	14	5,461	5	5,038	39	17,491
	計	190	182,787	148	149,008	130	105,748	468	437,543
47	所有権移転	67	308,472	96	398,729	67	306,467	230	1,013,668
経営	利用権設定	523	2,734,695	524	2,511,822	471	2,810,074	1,518	8,056,591
営基盤強	うち農地中間 管理機構分	128	699,213	157	628,438	144	855,283	429	2,182,934
化	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
法	計	590	3,043,167	620	2,910,551	538	3,116,541	2,177	11,253,193

資料:八代市農業委員会調べ